

令和 2 年度  
第 3 回 福島地方最低賃金審議会  
議 事 録

日 時：令和 2 年 7 月 2 7 日(月)

1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0

場 所：福島合同庁舎 3 階共用会議室

出席者：(公)岩井、熊沢、鈴木、藤野、森谷

(労)阿部、伊東、高橋、塩澤、深谷

(使)石井、石本、金成、佐藤、渋谷

1 開 会

(会 長) 定刻になりましたので、これより第 3 回福島地方最低賃金審議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

最初に、事務局から定足数の確認をお願いします。

(補 佐) 本日は、委員全員のご出席をいただいておりますので、最低賃金審議会令第 5 条第 2 項の規定により、本審議会が有効に成立しておりますことをご報告いたします。

2 議 事

(会 長) それでは、議事に入ります。

( 1 ) 中央最低賃金審議会の答申の伝達について

(会 長) 最初に、事務局から中央最低賃金審議会の「令和 2 年度地域別最低賃金額改定の目安について」答申の伝達をお願いします。

(室 長) 【中央最低賃金審議会の答申の伝達】

(会 長) それでは、中央最低賃金審議会の答申の伝達を受けて、今後の審議に当たっての考え方等を労働者側・使用者側からお伺

いします。協議の時間が必要であれば、お取りしたいと思いましたがいかがですか。

それでは、最初に、労働者側からお伺いします。

(阿部委員) 労働者側としましては、経済が厳しい状況であるということとは十分認識しているところでございますが、福島県におきましては有効求人倍率が1倍以上を保っているということ、さらに福島県の人口流出が非常に危機的状況ということ、隣県と比較したときに最低賃金の水準が低い、福島県の物価を見ると全国でも上位であるということ踏まえて、生活者としては厳しい状況であるということから、また今回の春闘におきまして昨年よりも下がっているところもありますが、一定の水準を確保しているということも踏まえながら、震災からの復興を加速するためにも福島県こそ地域間格差の是正という面で見ても、賃金の改定が必要だと考えております。以上です。

(会長) ありがとうございます。

次に、使用者側からお伺いします。

(佐藤委員) 今年の6月29日に諮問のあった地域最低賃金の金額改定の目安について22日に答申され、リーマンショックの平成21年度以来、11年ぶりに目安額が示されない結果となり、最低賃金の引き上げについては各都道府県の判断に委ねることになりました。このことについては、ここ数年合理的な根拠を明確に示すことなく、実態と大きく乖離した大幅な引き上げ額が示されるなど、また、目安でありながら目安とは言えない、目安を下回る議論ができないというおかしな状況が続いておりましたが、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による経済、雇用、労働者等への影響、中小零細小規模事業所がおかれている厳しい状況、今後の感染症の不透明さから、雇用の維持が最優先として、現行水準を維持することが適当との結論については、中小零細小規模事

業所の経営実態を反映した結論であると思われますので、評価し尊重したいと思っております。

現在及び今後の国内の経済や雇用等の厳しい状況については、本日配付された資料に触れられておりますので省きますが、福島県内の経済や雇用状況等につきましても全国の他県と同様に、各種の経済指標を見ますと、個人消費、生産活動、雇用等、いずれにおいても新型コロナウイルス感染拡大に伴い大幅に悪化しており、雇用については全国同様、雇用人員判断DIの数値が製造業において人員不足から人員過剰に変わるなどしております。また、福島労働局管内の有効求人倍率が、福島市や会津などの4つの主要都市において1倍を割り込むなど急激に雇用環境が悪化しています。

このような状況を踏まえるならば、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが全く立たない中において、非常事態宣言が解除されたものの、第2波、第3波の到来が危惧され、今後、社会経済に大きな影響を及ぼすことが懸念される以上、今年度については凍結・据え置きすべきと考えております。

なお、答申でも触れられているところの、中小零細小規模事業所が賃上げしやすい環境整備を図ること、及び生産性向上の支援や取引状況の改善等に政府が引き続き取り組むことについて、使用者側としても強く要望したいと考えておりますし、政府に対しては雇用の継続を図るためにも今後も引き続きあらゆる政策を総動員して厳しい環境下に置かれている県内の事業所、特に中小零細小規模事業所に対する支援を継続していただきたいと思いますと思っております。

以上、今年度の金額審議に臨む考えを述べさせていただきました。よろしく願いいたします。

(会長)      ありがとうございました。

中央最低賃金審議会が目安額を示されなかったということも含めまして、公益側としましては、労働者側、使用者側からご意見をお伺いして、審議を進めて参りたいと思っております。

(2) 福島県最低賃金にかかる資料の説明について

(会 長) 次に、事務局から福島県最低賃金にかかる資料の説明をお願いします。

(室 長) それでは、福島県最低賃金に関する資料についてご説明いたします。

【福島県最低賃金に関する資料説明】

(会 長) 只今、事務局から資料の説明がありましたが、ご質問等ございますか。

( な し )

(3) 特定最低賃金改正の必要性の有無の諮問について

(会 長) 次の議事に移ります。

特定最低賃金5業種の最低賃金改正の必要性の有無の諮問についてお受けします。事務局は準備願います。

(事 務 局) 【局長から会長へ諮問文手交】

(会 長) 事務局は、諮問文の読み上げをお願いします。

(室 長) 【諮問文を各々読み上げ】

(会 長) ありがとうございます。続いて、事務局から諮問に関する資料の説明をお願いします。

(室 長) それでは、特定最低賃金改正の必要性の有無の諮問に関する資料についてご説明いたします。

【改正の必要性の有無諮問資料説明】

(会 長) 只今の説明で、質問等がございましたらお願いします。

( な し )

(会 長) 続いて、事務局から、特定最低賃金改正の必要性の有無に係る審議及び答申のあり方について、説明をお願いします。

(室 長) それでは、特定最低賃金改正の必要性の有無の諮問に係る審議の方法等について説明いたします。

福島県で設定されている特定最低賃金５業種につきましては、本年３月２３日に関係労働団体より改正申出の意向表明がなされ、７月１６日に改正申出書の提出がなされました。

特定最低賃金の改正の必要性の有無にかかる審議方法に関しましては、平成３０年度からは、審議会の丁寧な運営に係るご意見を踏まえ、５つの特定最低賃金について、個別に審議する、諮問日と審議・答申日は別日とする、としてきたところです。しかしながら、平成１０年１２月１０日付け「中央最低賃金審議会特定最低賃金に関する全員協議会報告」において、「特に事業の競争関係、賃金格差の存在の疎明の内容等の状況に変化がなく、制度の趣旨を逸脱することがないと認められる場合には、一括して審議を行うなど、審議会の効率的運営に配慮する」とされているところです。

今年度の審議方法について、よろしくお願いいたします。

(会 長) 事務局から説明がありましたが、特定最低賃金の改正の必要性の有無に関する審議方法について、平成３０年度と令和元年度は、特定最低賃金ごとに個別審議とし、諮問日と答申日は別日とすることとしてきましたが、審議会の効率的な運営に配慮して、今年度については、特定最低賃金５業種について一括して審議する、諮問日と審議・答申日は別日とすることとしてよろしいでしょうか。

#### 《 異議なしの声 》

(会 長) それでは、今年度の特定最低賃金の改正の必要性の有無に関する審議方法については、５つの特定最低賃金について、

一括して審議する、諮問日と審議・答申日は別日とすることとします。今後の日程につきまして、事務局から説明願います。

(室 長) 特定最低賃金の改正の必要性にかかる審議、答申の日程は、8月5日(水)に開催予定の第4回審議会としております。

(会 長) 特定最低賃金の改正の必要性にかかる審議、答申は第4回審議会で行うこととしてよろしいでしょうか。

《 異議なしの声 》

(会 長) それでは、特定最低賃金の改正の必要性にかかる審議、答申は第4回審議会で行うこととします。

### 3 その他

(会 長) その他として、事務局から何か連絡等ありますか。

(室 長) 今後の審議会日程につきましては、審議会日程事務局案のとおりですが、8月5日(水)に開催予定としております第4回審議会につきましては、8月4日(火)に開催予定の第4回県最賃専門部会の審議の状況によっては、変更となり、予備日の8月6日(木) 13:30からになる場合がございます。

日程変更の際は、直ちに各委員にメール・電話等でご連絡を差し上げますのでよろしくお願いいたします。

(会 長) 各委員の皆様には、第4回審議会の日程変更の際は、予備日の日程調整にご配慮願います。

### 4 閉 会

(会 長) その他、ご質問等はございますか。

( な し )

(会 長) なければ、これにて本日の審議会を閉会とします。